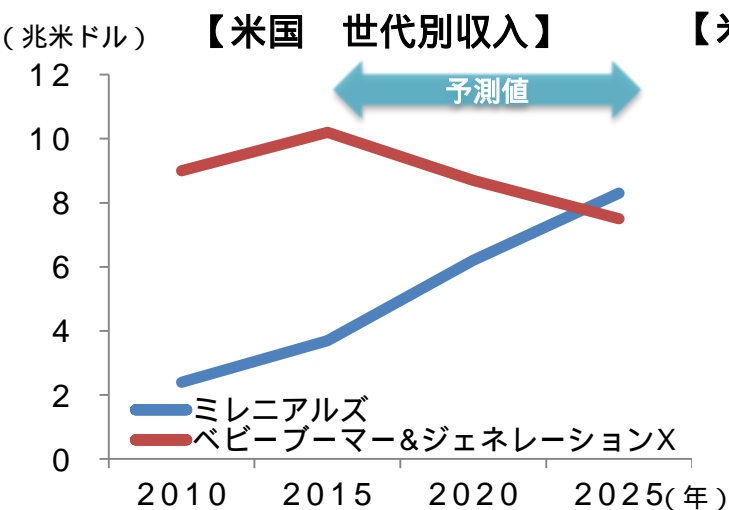
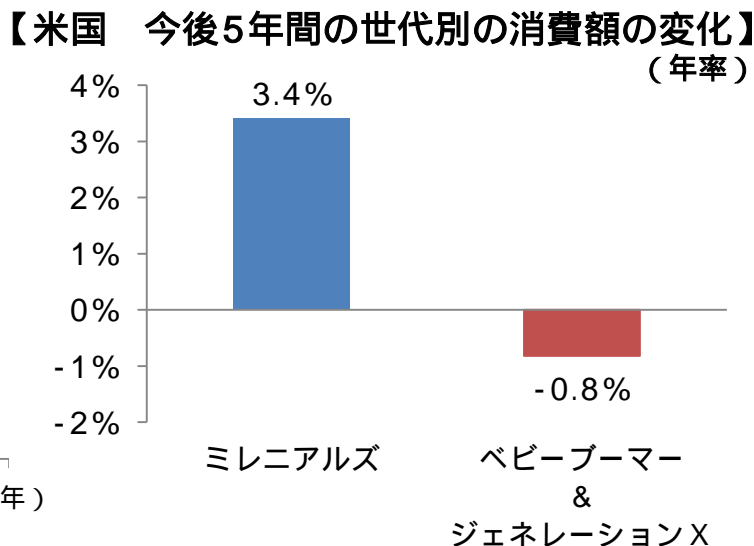


ゴールドマン・サックスが注目する「ミレニアルズ」 ～ミレニアルズを読みとくシリーズ第三弾～

ゴールドマン・サックス・グループが注目する若い世代層「ミレニアルズ（1980年～1990年代生まれの16歳～35歳を指す）」は世界の世代別人口の中で最大勢力となっています。さらに、この年代の人々はこれから就職やキャリア・アップ、昇進を通じて収入が増えていく可能性が高いため、これからの消費の伸びも期待されます。



出所：ジャベリン・ストラテジー・アンド・リサーチのデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成、2015年以降は予測値



出所：ゴールドマン・サックス・インベストメント・リサーチのデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成

	ジェネレーションZ	ミレニアルズ	ジェネレーションX	ベビーブーマー	シニア世代
生まれ	2000～	1980～1999	1965～1979	1946～1964	1933～1945
年齢	～15	16～35	36～50	51～69	70～82

(出所：国連、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 時点：2015年12月現在)

実はこの「ミレニアルズ」の消費傾向には今や多くの企業が注目しています。人口が多く、収入および消費が増えるミレニアルズのニーズをつかめば企業が成長できる、この流れはかつてベビーブーマー世代、日本でいうと団塊の世代のニーズをつかんだ企業が業績を拡大したという過去がヒントとなっているようです。

上記は経済や市場のデータおよび一時的な予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保障するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保障するものではありません。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。))が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保障するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。

本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。

<審査番号:56655-TMPL-07/2016-312038.> © 2016 Goldman Sachs. All rights reserved.

読得
ヨミトク

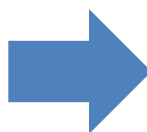
No.106

ゴールドマン・サックスが注目する「ミレニアルズ」
～ミレニアルズを読みとくシリーズ第三弾～

若い世代のニーズをつかみ成長した企業 アサヒビール

アサヒビールは1987年に発売した「スーパードライ」で、若者好みの味の開発、若者向けのPRをし、一気に業界の主役へと躍り出ました。

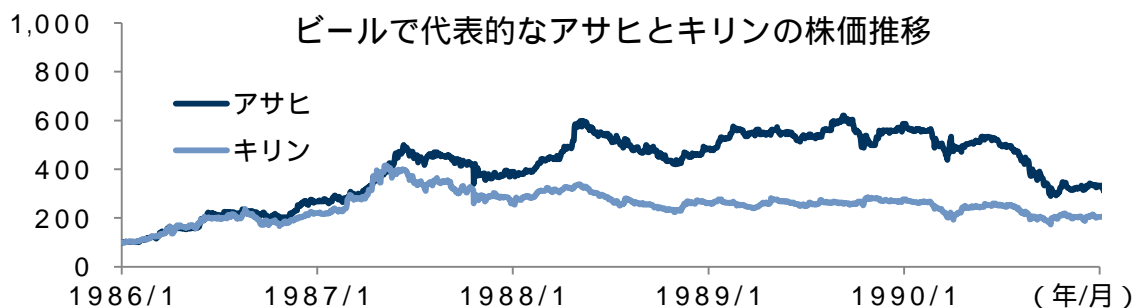
コク・苦味・加熱処理
瓶ビール
酒屋で購入



切れ味・鮮度・“生”
缶ビール
スーパーやコンビニで購入

伝統的な味を維持

若者の嗜好をキャッチ



出所：ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

期間：1986年1月1日～1990年12月31日（1985年12月末日を100として指数化）

近年、ニュース等で若者のビール離れという声も耳にするようになりました。実は今、世界の若者の間では「クラフトビール」、いわゆる地ビールが人気です。ミレニアルズの心をつかんでいることが人気が高まっている理由の一つと言われています。彼らの嗜好をとらえたビールを提供できる企業にはまだまだ多大なる成長余地があるのではないのでしょうか。

クラフトビールがミレニアルズの心をつかむ理由

少量生産、特徴的な製法スタイルであるため「オリジナリティ」があるのが魅力
枠にとらわれないデザインのパッケージがミレニアルズの興味を喚起

高級すぎず、派手すぎず、手の届く範囲での「プチ贅沢」を楽しめる点もニーズに合致

ビール業界全体の伸びが低迷している昨今でも、
ミレニアルズに人気のクラフトビール市場は成長！



本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。

本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。

<審査番号:56655-TMPL-07/2016-312038.> © 2016 Goldman Sachs. All rights reserved.